

アバナ・シャンペーンについて / About Urbana-Champaign

世界有数の大平原の中心に位置するツインシティ、アバナ・シャンペーンは、広大な農業地帯に囲まれた国際色豊かな大学町で、本学の約 26,400 人の学部生と 9,000 人の大学院生を含む 10 万人の人々が生活しています。イリノイ大学では毎年 4,000 人を超える留学生を受け入れており、その約半数がアジアの国々からの学生です。

アバナ・シャンペーンは大学町らしく、文化、娯楽施設が充実しています。国内有数の芸術施設と言われるクラナート芸術センター（The Krannert Center for the Performing Arts）もその一つです。センターでは様々な音楽や演劇が上演され、最近ではヨーヨー・マ、五嶋みどり、鼓童などによる演奏が行われました。また、クラナート美術館（The Krannert Art Museum）のコレクションは、州内ではシカゴ美術館に次いで充実した内容となっています。広大な日本庭園に囲まれた Japan House は 1998 年に完成し、日本に関する様々な文化的、教養的なプログラムを提供しています。そして、The Beckman Institute for Advanced Studies では、科学、心理学、言語学、社会学などの分野の研究者たちが、その垣根を越えて、人知、人工知能に関する研究を行っています。IMPE（Intramural Physical Education Building）は大学のスポーツ施設としては世界最大を誇ります。IMPE は現在改築中で、間もなく最新の運動・娯楽施設として生まれ変わります。

EALC の徒歩圏内にはコーヒーショップ、ブックストア、そして中華、ジャパニーズ、韓国、タイなどのレストランがいくつもあります。また、少し足を延ばせば、緑豊かな公園も数多くあります。公共交通機関としてバス路線が発達しており、イリノイ大学の学生は無料で利用することができます。

2、3 時間ドライブすれば、シカゴ、インディアナポリス、セントルイスといった大都市での一時を満喫できます。また、シャンペーンからはシカゴのダウンタウンまで電車一本で行くことも可能です。大学所有のウィラード空港からは（Willard Airport）からは世界中の至る所に飛び立つことができます。

アバナ・シャンペーンは活気に満ち溢れ、多様性に富んだ場所です。国際的レベルの研究と豊かな文化が一つになったこの町は、学術的な刺激に溢れながらも、小さな町ならではの美点も持ち合わせていると言えます。